

菌根性きのこの安定生産技術の開発

福島県林業研究センター林産資源部
平成15年度福島県林業研究センター研究報告

1 部門名

林業－食用キノコ－育種・選抜
分類コード 18-16-06000000

2 担当者

古川成治

3 要旨

ホンシメジ野外栽培試験では、林地に埋め込むための接種源および埋め込み方法について検討した。その結果、ホンシメジ感染苗の作成、培養菌糸の作成、胞子の収集が可能となった。また、感染苗と培養菌糸を同時に埋め込むと1年程度菌糸が生存し、さらに、培地の種類、菌株により埋め込んだ培地から子実体が発生することが確認された。

ホンシメジ空調栽培試験では、純粋培養に適するホンシメジ菌株の収集を行い、発茸能力試験を行った。また、人工合成培地により発生する菌株を使用し、培地組成の試験および奇形子実体発生防止試験を行った。

平成9年度から平成15年度までにホンシメジ47菌株を収集した。栽培試験の結果、原基を形成する菌株が14株、このうち完全な子実体を形成する菌株が11株選抜された。

栄養剤の検討では、栄養添加剤A、コーンブラン等、押し麦以外でも完全な子実体が形成されることが確認され、コスト削減に有効であることがわかった。また、菌株H10-6と栄養添加剤Aの組み合わせでは、培地重量の1～2割程度の子実体が発生することが確認された。

ポリプロピレンの袋で栽培を行い、発生処理の時に大きなフィルターを装着した結果、栽培上の欠点である子実体の軸の長さが少し短くなり、正常な子実体に近い形態となった。

4 その他の資料等

なし